

梨、柿で市共進会W最上位



神奈川県相模原市南区の柿澤貞夫さん(68)

草生栽培こだわりの

は、梨と柿を中心とした果樹栽培に力を注いでいる。昨年開かれた

「第57回相模原市農業まつり農畜産物共進会」では、生産物・立

毛「梨の部」と、立毛「柿の部」で、最上位

神奈川県相模原市

柿澤貞夫さん

の優秀賞を受賞した。玉のそろいや大きさ、糖度の高さが際立った生産物の部に加え、2部門で受賞した立毛の部では、病気の原因となる剪定(せんてい)枝や落ち葉の処理など、徹底した畑の管理が評価された。副部長を務める相

模原市果実組合の梨部会、柿部会で聞く講習会での学びが生きた結果となった。

約3反の畑で梨20本、柿50本を栽培する。梨は「幸水」「豊水」「新高」を主に、神奈川県育成品種で極早生の「香麗」も取り入れ、より長い出荷ができるようになった。

柿は父親から受け継いだ「次郎」「富有」を今も大切に育てている。

こだわりの草生栽培を取り入れた、水持ちが良く柔らかい土づくり。どちらも摘果を多くし少なからせることで、大玉で、質の高い果実になるという。

柿澤さんは「毎年楽しみにしてくれている固定客も多い。今年もおいしい果実を届けられるよう、より質の高い栽培を目指したい」と話す。

(神奈川県・相模原)



梨の品質を確認する柿澤さん(神奈川県相模原市で)